

長崎県教員免許状 更新講習部門

本部門は、長崎県内の国公立大学及び短期大学並びに長崎県で構成される長崎県教員免許状更新講習連絡協議会の管理・運営の統括をしています。平成28年度の講習は長崎県内の7地区で、必修17講座、選択必修38講座、選択151講座の計206講座を開設します。

なお、平成28年度から新たに「選択必修領域」が追加され、免許状更新講習の内容が変わりました。



詳しくは、

「長崎県教員免許状更新講習ホームページ」
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/menkyo/>
で、ご確認願います。

社会教育支援部門

本部門は、地域の社会教育に関する支援を行うことを目的として、平成28年度に新設(産学官連携戦略本部人材育成部門生涯教育室を本センターに統合)され、主に公開講座の実施やシニア人材育成に関する業務を行っています。

公開講座は平成26年度に19講座を開講し、延べ3,471人が参加しており、平成27年度は20講座を開講し、平成28年度は13講座を開講する予定にしています。

また、シニア人材育成に関しては、長崎県すこやか長寿財団と連携・協力し、長崎県すこやか長寿大学校「シニアいきいきカレッジ」を長崎市及び佐世保市で開講するにあたり、講師の派遣や開講場所の提供等を行っています。



■お問い合わせ先

長崎大学 地域教育連携・支援センター

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1番14号(教育学部5階)

TEL : 095-819-2184 FAX : 095-819-2314

E-mail : chiiki@ml.nagasaki-u.ac.jp

URL : <http://www.chiikiedc.nagasaki-u.ac.jp/>



平成28年5月発行



長崎大学
地域教育連携・支援センター
Nagasaki University Center for Regional Educational Partnerships

設立趣旨

地域教育連携・支援センターは、長崎大学における大学間連携及び地域教育連携支援を推進することを目的として、平成24年12月に設立されました。

県下学校-大学連携・支援部門、大学間連携事業部門、長崎県教員免許状更新講習部門の三部門が置かれ、平成28年4月には、産学官連携戦略本部人材育成部門生涯教育室を統合し、新たに社会教育支援部門が設置されました。

「地域に学び、地域を探求し、地域の課題解決を図る」を基本コンセプトとして今後も教育分野における地域貢献活動を全学的な体制のもと積極的に進め、将来にわたって地域社会から信頼される大学であり続けるための基幹センターとしての役割を担って行きたいと考えています。

大学間連携事業部門

大学間連携共同教育推進事業

長崎大学では、「グローバル人材の育成」を重要課題として、様々な教育改革を進めています。その一環として、県内の10大学・短期大学(以下「県内大学等」という。)と連携して、「留学生との共修・協働による長崎発グローバル人材基盤形成事業」を実施しています。

この事業は、文部科学省の補助事業として平成24年度に採択されました。県内大学等の留学生と日本人学生が、授業等を共に学び(共修)、インターンシップやボランティア活動で協力しながら働く(協働)ことによって、グローバル社会に必要な能力の基盤を形成しようとするものです。

本事業の特色は、県内大学等の学生によって組織された学生企画運営室が中心となって、様々なイベント・講座等を企画・運営していることにあります。学生目線の様々な活動を通して「異文化理解能力」や「前に踏み出す力」、「協力する力」、「現場力」といった社会人基礎力の獲得を目指しています。



本事業への参加学生数(長崎県内大学の新生)

平成25年度	475名(日本人学生264名、留学生211名)
平成26年度	475名(日本人学生253名、留学生222名)
平成27年度	495名(日本人学生292名、留学生203名)
合計	1,445名(日本人学生809名、留学生636名)

NICEキャンパス長崎

「NICEキャンパス長崎」は、平成13年度からスタートした単位互換制度で、長崎県内全ての大学、短期大学及び高等専門学校等の計11団体が参加しています。

「NICE」の名称は、Nagasaki Intercollegiate(大学間) Credit(単位)Exchange(互換)の頭文字をとってつけられました。

単位互換制度は、各大学等が提供している授業科目(コーディネート科目、教養科目、専門科目)の中から、希望する科目を履修し、科目開設大学で単位を修得すれば所属大学の単位として認定される制度です。また、認定された単位のうち、所定の要件を満たすものについては、卒業要件単位(大学によって扱いは異なります。)として活用することもできます。受講生からは、「他大学の教授の話の聞けたり、他大学の雰囲気がわかって面白かった」、「長崎について様々な視点から学ぶことができました」というような感想が寄せられています。

平成27年度受講者数 663名

学生連絡協議会(ちゃんぽんネットワーク)

長崎県内の各大学・短期大学・高等専門学校から推薦された学生による、地域貢献を目的とした活動の企画・運営を計画・実行します。平成27年度は「長崎コレクション」と名付けた、大学生が本当に行ってみたくと思える場所を紹介するMAPを作成し、県内の各大学、長崎県庁、長崎市役所、佐世保市役所、ながさきプレス等に配布を行い、長崎の魅力をアピールしました。



県下学校-大学連携・支援部門

■小中高生対象(大学で実施する事業)

事業名	対象	内容	平成27年度実績
未来の科学者養成講座	小中高生	理科・算数・ロボット・情報などが好きな子供たちの能力を育成します。	基礎コース：受講者数 小39名、中23名 マスターコース：受講者数 小12名、中30名、高6名
オープンラボ	高校生	大学の研究室等における見学や実験・実習を通して、研究の一端に触れる機会を提供します。	開講講座数22講座 受講者数 高95名
高大連携事業-高校生公開講座、科目等履修生としての講座	高校生	大学での講義を体験・受講する機会を提供します。	多文化社会学部 高37名、教育学部 高12名、 経済学部 高9名、工学部 高24名
サイエンス塾	小中高生	大学の研究室等における見学や実験・実習を通して、科学への関心を高めます。	「科学の甲子園」連携事業 参加者数 高61名 「科学の甲子園ジュニア」連携事業 参加者数 中48名 大学訪問/見学等 中学校3件、高校9件(578名)

※小:小学生、中:中学生、高:高校生

■小中高生対象(学校・地域に向いて実施する事業)

事業名	対象	内容	平成27年度実績
サイエンスカーラボ	小中学生	県内の小学校及び中学校へ教員を派遣して、先端科学等の実験や講義を実施します。	小学校 24講座 参加者数 908名 中学校 11講座 参加者数 380名 小・中合同 1講座 参加者数 19名 その他 39講座 参加者数3,989名
高大連携事業-長崎大学「教員の高等学校への派遣事業」	高校生	大学における教育研究内容に触れ、進路決定や課題探究能力の育成に役立てることができるよう、県内の高校へ教員を派遣します。	A: 入試・学部説明 1校 B: 講義体験 3校 C: A+B 10校 D: テーマ別講義(クラスラボ) 10校16講座 688名
リケジョ育成プログラム	中高生・保護者・教員	理系進路選択支援の一環として企業や大学、研究所や動物園などで働く多様な理系職に就く女性を講師に迎え、セミナーを開催します。	夢セミナー3回:参加者数195名 憧れセミナー3回:参加者数 59名 志セミナー1回:参加者数 71名
育シリーズ-書育・音育・植育-	小学生	書くこと、音を使うこと、植物を育てることを通してコミュニケーション力を育みます。	参加者数154名(小学生、保護者、その他)

■小中学校教員対象

事業名	実施場所	内容	平成27年度実績
CST(コア・サイエンス・ティーチャー)養成事業	大学・所属校等	地域の核となる理数系教員(CST)を養成するため、大学院CST養成課程の開設及び教員としての実務研修を行います。	大学院CST養成課程受講者数 小2名・中6名 大学院生2名 評価授業及び講師・副講師研修受講者数 小3名・中2名
理数系教員のための基礎講座	大学拠点校等	長崎大学やCST活動拠点校等を会場として、小・中学校教員を対象に講座を開講します。	2講習 参加者数 小11名・中10名
長崎CST事業「理科教材検討会」	CST活動拠点校等	小・中学校教員が日頃活用している教材の実習と検討を行います。	参加者数 小21名・中17名
地域理数教師塾	各市・町	CST活動拠点校等を会場として小・中学校教員を対象に教師塾(研修会)を開催します。	2研修会 参加者数 小14名・中5名
外国語活動のための研修会(県教委と協議の上、会場地を決定)	大学・地域	各学校における外国語活動が円滑に行われるよう、小・中学校の教職員に対して、具体的な実践授業等の研修会を行います。	平成26年度からの実施事業 2箇所実施 長崎市:小中74名 大村市:小中33名

※小:小学校教員、中:中学校教員

■一般対象

事業名	実施場所	内容	平成27年度実績
NU-サイエンス・ファイト	地域	大学教員・研究機関の研究者などによる科学実験、小・中・高校生による研究発表、誰でも参加できるサイエンス・クイズ大会などを一般市民の方を対象に商店街などで実施します。また平成27年度は、科学技術の今と未来を語り合う「サイエンスラウンジ」を開催しました。	平成26年度からの実施事業 佐世保玉屋で実施 研究発表69点・実験観察18件・サイエンスラウンジ「ロボットの開発と教育」・一般参加者数約1,000名

■その他

- ・「未来の科学者養成講座」は、平成28年度より、一部内容を変更し、「次世代科学者育成プログラム」として実施します。
- ・平成28年度は、「育シリーズ-書育・音育・植育-」、「地域理数教師塾」は実施しません。